

大府児童老人福祉センターに多世代が交流できる木質空間 「もくもく (MOKU MOKU)」が誕生！ オープニングセレモニーを開催します

大府市は、大府児童老人福祉センターに多世代が交流できる木質空間「もくもく (MOKU MOKU)」が誕生することを記念し、オープニングセレモニーを開催します。

大府市は令和5年7月に長野県王滝村・木曽町と締結した「水源の森林の保全・育成に関する連携協定」に基づき、王滝村・木曽町の木材の利用促進と木育を推進するため、センター内の一部を改修し、新たに木質空間と木製玩具を整備しました。

この施設は「おおぶこども輝く未来応援八策」において「教養・遊び」を育む施設として位置付けています。こどもから高齢者まで幅広い世代が木との触れ合いを体験し、心穏やかに過ごせる空間を提供するとともに、多世代交流の機会促進を目指します。

■ 「もくもく (MOKU MOKU)」オープニングセレモニーの概要

日時／令和7年3月28日（金）午前11時00分～正午頃

※午後2時～3時は、一般向けの内覧会を開催します。

場所／大府児童老人福祉センター（大府市桃山町5-180-1）

出席者／岡村秀人（オカムラ ヒデト）大府市長

越原道廣（コシハラ ミチヒロ）王滝村長、原久仁男（ハラ クニオ）木曽町長 他

内容／市長挨拶、テープカット、バイオリン演奏など

■ 「もくもく (MOKU MOKU)」の概要

改修床面積／96.38㎡

王滝村・木曽町産の木材を内装材や家具などに使用

木製玩具（トリタマ・くるりんカーなど）12点

機能／市内市民団体による全世代型サロンなどを実施

リニューアルオープン／令和7年4月1日（火）

名称の由来／利用者が名称案を考え、投票によって決定しました。「木」や「木育」を連想でき、こどもたちも読めるよう、平仮名とアルファベットで表記しました。多くの皆さまにご利用いただきたいという願いが込められています。

※この事業は、愛知県の「元気な愛知の市町村づくり補助金」を活用しています。



写真：MOKUMOKU 内の交流スペース（王滝村・木曽町の木材を使用した家具が並ぶ）

【問い合わせ先】

大府市こども若者女性課

担当：竹内双葉（タケウチ フタバ）

電話：0562-45-6229 FAX：0562-47-2888 メール：kodomo@city.obu.lg.jp